

日本生活協同組合連合会



日本生活協同組合連合会（日本生協連）は、全ての持続可能な開発目標の達成に向け、持続可能な食料システムへの変革のための具体的な行動を推進するために開催されるFSSへの支持を表明します。

私たちは、持続的な食料システム、特に「持続可能な消費パターンへの移行」の実現に貢献するため、①食品ロス・食品廃棄物の削減、②エシカル消費の推進、③責任ある調達への推進に取り組みます。また、全国の会員生協がこれらの取り組みを進められるよう支援します。

【具体的な取組・目標(コミットメント)】

- ① プライベートブランドであるCO・OP商品に由来する食品廃棄物を2030年に2018年度比で50%以上削減します。商慣習の見直し、需給予測の精度向上、フードバンクなどを通じた余剰食品の有効活用を含む総合的な施策に取り組みます。会員生協とともに、CO・OP商品を活用したローリングストックの普及や食品ロス削減を呼びかけ、組合員の参加を促進します。
- ② 組合員の「エシカル消費」を可能にするCO・OP商品の開発・普及を推進します。「エシカル消費」や「持続可能な食」について、学習会等を通じ消費者理解を促進します。
- ③ サプライチェーン全体での人権・環境配慮のため、CO・OP商品において「責任ある調達基本方針」に沿った取り組みを推進します。

【関連情報】

「コープSDGs行動宣言」 <https://jccu.coop/activity/sdgs/>

「日本生協連SDGs取り組み中期方針（2020-2022）」 https://jccu.coop/info/announcement/2020/20200619_01.html

「生協の2030環境・サステナビリティ政策」 https://jccu.coop/activity/sdgs/pdf/Sustainability_leaflet.pdf

「CO・OP商品の責任ある調達基本方針」 https://jccu.coop/jccu/data/pdf/coop_procurement_policy.pdf

「コープのエシカル」 <https://goods.jccu.coop/ethical/>

「食料・農業問題と生活協同組合の課題」 https://jccu.coop/jccu/data/pdf/agri_seisaku2020.pdf

